

コミュニティバスの試行運行について

試行運行ルートを選定経緯

- 令和元年12月 コミュニティバス導入検討にあたっては、「鉄道駅やバス停からの距離」、「高齢者の居住状況」等の11の指標に基づき、区内13地域を点数化し評価(図1、図2)。
- 令和2年3月～11月 区内13地域でワークショップ(地域意見交換会)を開催し、点数の高い(=バス導入効果の高い)3地域における候補ルート(大崎・大井・荏原)を設定(図3)。
- 令和3年2月 ワークショップを踏まえた候補ルート3案や導入効果が最も高かった大井ルートから試行運行を実施すること等について、地域公共交通会議で了承。
- 同年12月 警視庁協議の結果、大井ルートが変更。協議の整った現行ルート(赤実線ルート)から先に試行運行を実施し、西大井循環区間(青点線ルート)については継続協議(図4)。

評価項目	評価指標
① 鉄道駅やバス停からの距離	鉄道と路線バスのサービス圏域外人口の割合(%)
② 路線バスの運行本数	路線バスの運行本数(本/ha)
③ 高齢者の居住状況	65歳以上の人口密度(人/ha)
④ 子育て世帯の居住状況	5歳以下の人口密度(人/ha)
⑤ 最寄り駅までの標高差	最寄り駅との最大標高差(m)
⑥ 主要施設の立地状況	主要施設の施設密度(箇所/10ha)
⑦ 商業施設の床面積	商業施設の床面積密度(m ² /ha)
⑧ 観光資源の分布状況	観光資源の密度(箇所/10ha)
⑨ 住民の移動量	区民移動の発生密度(トリップ/km ²)
⑩ 住民の交通不便意識	公共交通に関するアンケート調査における「移動が不便」の回答割合(%)
⑪ 新たなバス路線への利用意向	公共交通に関するアンケート調査における「新たなバスを利用する」の回答割合(%)

図1

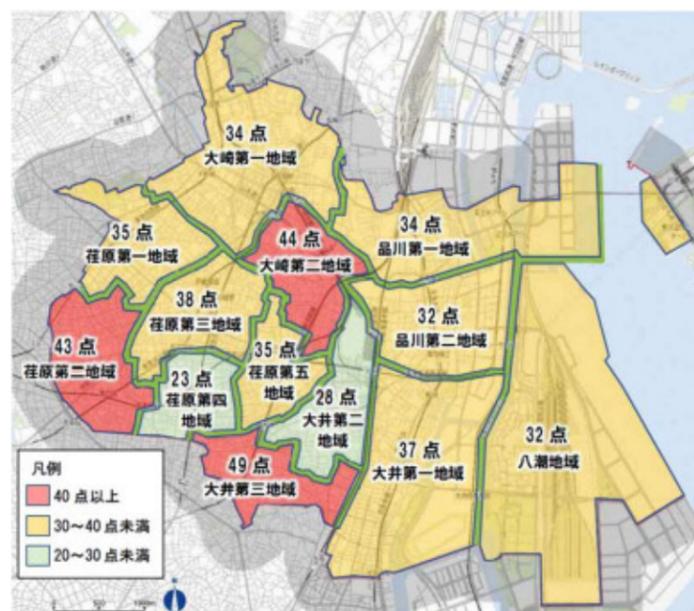
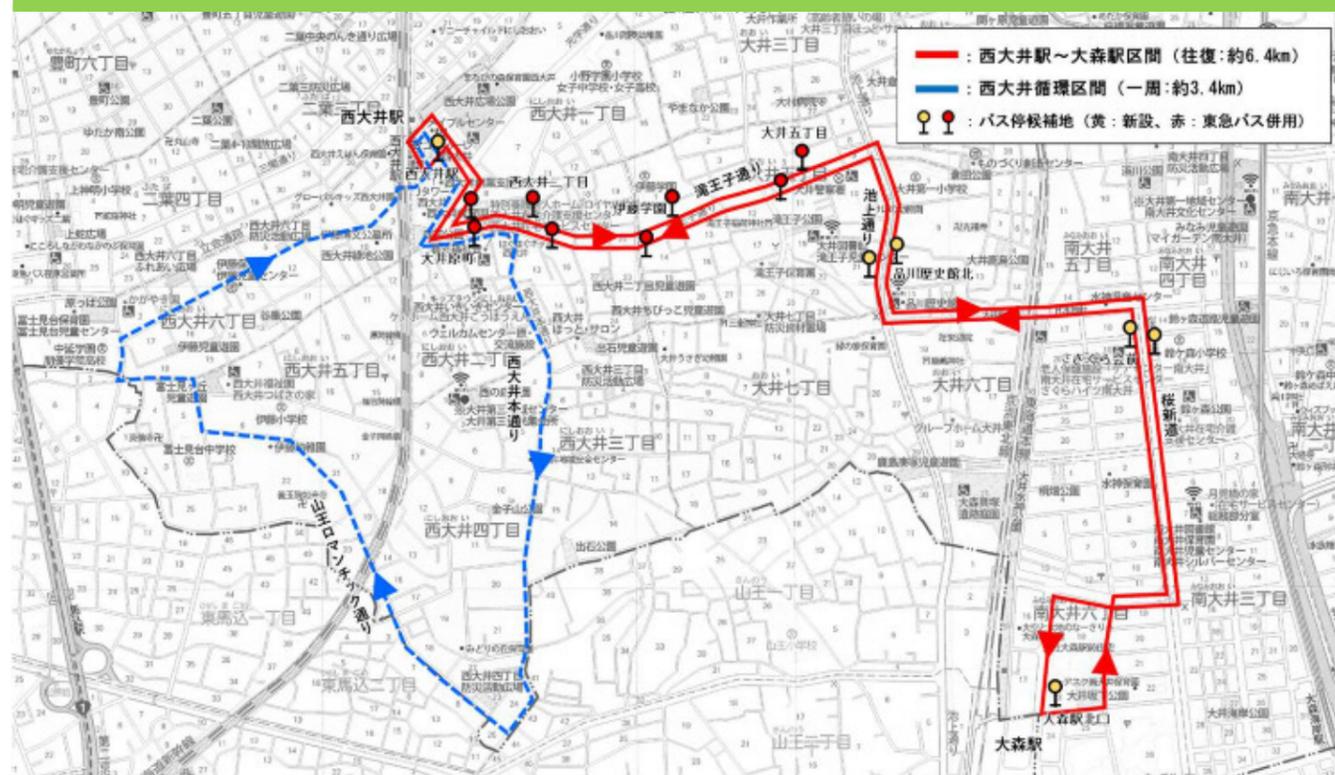


図2



図3

試行運行実施ルート (図4)



既存バス路線との競合状況

- しなバス運行ルート
- 京急バス運行ルート
- 📍 しなバスバス停
- 📍 京急バスバス停

○ 南大井地区のしなバスと京浜急行バスの運行状況は右図のとおり。

○ さくら会前バス停の東側に位置する第一京浜や同バス停より南側の桜新道については、京浜急行バスの井19や森22系統が運行している。

※ コミュニティバスの基本的な考え方
ルート設定・バス停設置にあたり、既存バス路線と競合しないことを前提とする。

